

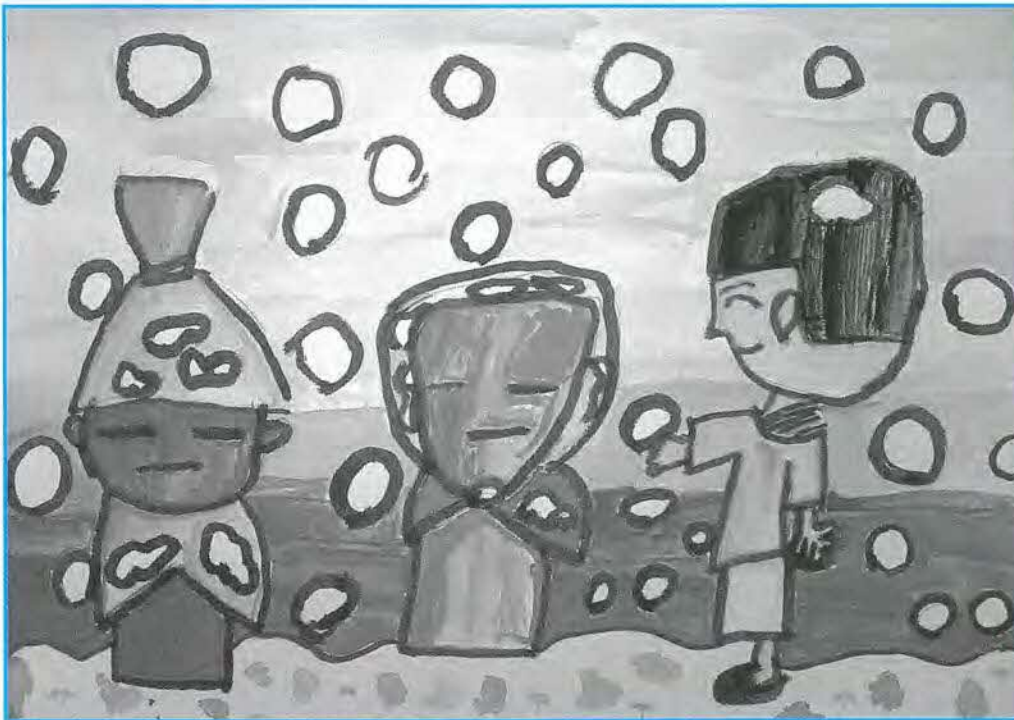
さくら

題字 足立区長

足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
会 長 中田 貢 弘
編 集 広 報 部 会
発 行 日 2007年3月1日
〒120-8510
足立区中央本町1-17-1



おじぞうさん 梅島第二小2年 篠島知子 作

目 次

東京都民生委員・児童委員大会	2
祝 藍綬褒章受賞	3
あんしんネットワーク	4
介護ってなあに	5
子育て応援団	6
民児協便り	7
編集後記	8

共に歩む

しのはら 守宏 足立区議会議員



私は昨年5月31日に第62代足立区議会議員に就任して以来、早いもので8ヶ月が経過いたしました。この間、民生・児童委員の皆様とは、全員研修会をはじめ数々の会合で接する機会をいただいておりますが、皆様の福祉に対する熱い情熱とその姿勢には、いつも頭の下がる思いを致しております。私は、区議会議員に当選した前年の、平成10年から保護司を勤めております。民生委員の皆様とは相談の対象こそ異なりますが、自立へ向けて助言するという意味においては同じです。少年院を出た青少年の社会復帰を願い、面接をするたびに思いますのは、何よりも家庭教育の大切さでありま

す。

確かに学力向上は大切です。それにも増して、幼い頃から「大切にされている」という思いの中で、きちんとした生活習慣を身に付けさせることが人生を大きく左右することになると痛切に感じております。今後とも、家庭的に恵まれない青少年を勇気づけ、社会復帰に向けて援助してまいりたいと思っております。児童虐待や殺人事件が毎日のように報道されております。区民の皆さんが地域の中で安心して暮らせるよう、民生委員の皆様と力をあわせて取り組んでまいりますので、今後ともお力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、私の信条として思っておりますのは「社会から何々してもらうではなく、自分が社会に何ができるかを模索し実践することで人は向上する」この言葉を生涯貫いて歩んで参りたいと思っております。



第60回 東京都民生委員・児童委員大会 開催



石原東京都知事

11月22日、文京シビックホールに於いて、第60回東京都民生委員・児童委員大会が開催されました。石原都知事及び大澤東京都民生児童委員連合会会長の挨拶があり、東京都表彰規則による表彰者、特別功労者、一般功労受賞者、合わせて

期を迎えているという認識にたち、大都市東京にふさわしい福祉・保健・医療サービスの一層の充実を目指す。また自然災害への備えも重要であるという認識のもとに、来年の民生委員制度90周年に向けて、災害時の要援護者対策を民生委員の立場から強化していくこと」などを重要課題として挙げ、宣言が採択されました。地域における行政と住民の架け橋である民生委員の役割はますます重要となっていることを改めて考えさせられました。第2部では脚本家、小山内美江子氏によるカンボジアなどに学校を作る「JHP・学校をつくる会」というすばらしい活動内容の記念講演もあり、盛会の内に散会しました。(第4地区 大久保義子 記)

1,003名(うち足立区60名)の方々が表彰されました。本大会では、「本格的な高齢社会・人口減少社会が現実のものとなるなど、時代は今、大きな転換

宣言文

- 一、備えと予防を大切にする活動を展開し、「民生委員児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」への取り組みを通して民生児童委員活動のPRに努める。
- 一、人権と個人情報に配慮しながら住民の立場に立った相談を行い、必要な福祉サービスの利用ができるよう支援する。
- 一、子どもの安心・安全をめざす地域社会づくりに積極的に参加し、住民や関係機関との幅広い連携による支援活動を推進する。
- 一、民生児童委員協議会は、委員活動が一層充実したものとなるよう一人ひとりの委員を支える組織活動を展開する。

※ JHP・学校をつくる会

私達の会は、大学生を活動の主体とした、1991年クルド難民、カンボジア帰還難民の救援の活動から生まれました。93年5月に施行された総選挙によってカンボジアは王国として再出発しましたが、ポルポト時代、教育は徹底的に破壊され、校舎はもとより、教師も教材も信じられないほど不足していて、あの国が自立して行くには「まず教育」です。私たちは心の底から学校をつくらうと思い立ち、93年に任意団体として発足しました。多くの人々に建設資金を呼びかけ、カンボジア各県で校舎、ブ

ランコ、鉄棒づくりに汗を流して来しました。現在、当会の建設校は172校舎を超え、小学校以外に中学、高校、師範学校の建設、孤児院の運営も行っています。今、これらの校舎で学ぶたくさんの子どもたちの瞳には日本の若者との交流と共に学ぶ欲びが輝いているのは言うまでもありません。

(JHP・学校をつくる会
代表 小山内美江子氏
ホームページより)



東京都表彰規則による表彰者

厚生労働大臣特別表彰 和田 信雄*

在職20年以上の方 相澤明義 高橋みつ子 飯塚純子 入澤むつみ 佐々木輝子 長野照子

特別功労 在職17年以上の方 野寺 保 治

一般功労
在職10年
以上の方

山崎 藤雄
藤野 俊子
西城 城夫
横田 芳子
勝村 節子
川村 育三
星野 明美
青木 京子
長谷 正治
小久保 隆

宇田川ひとみ
青山 ミナ子
大庭 兵次
齋藤 節子
小坂 ひさ子
森 春枝
今野 貞子
渡邊 豊子
近藤 みつ
増田 三恵子
清水 ヨシ子
古姓 長孝
内木 正夫

國井 喜義
茂木 芳治
田中 榮一
石井 静子
吉田 修一
大石 瑞枝
宇田川美恵子
小宮 章好
江川 忠雄
中村 京子
中村 すみ子
川上 キヨイ
矢萩 隆一

近藤 悦子
森脇 久仁子
中川 徳造
大谷 一男
市川 綾子
石鍋 きぬ子
大木 健
花井 ふみ子
佐々木 好二
大澤 初子
星野 雅夫
金子 良子
白井 操

寺山 みよ子
青木 昭治
小泉 洋子*

*は退任者の皆様です。
敬称略
以上60名



亀田小2年 黒川恵留真 作

足立区は活動記録提出100%継続を目指します

藍綬褒章受賞



このたび、秋の褒章におきまして藍綬褒章を受賞いたしました。身に余る光栄と感謝しております。これも関係皆様がたのご指導の賜とっております。11月16日に厚生労働省にて褒章と章記の伝達を受け、午後3時皇居豊明殿にて天皇陛下拝謁の栄を賜りました。昭和52年に民生・児童委員を拝命して

29年間健康に恵まれ、地域の皆様がたと共に活動できたことは本当にありがたいと思っております。任期はあと1年足らずですが皆様がたと共に福祉の増進に努めたいと思います。どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

(東綾瀬地区会長 榎本正次 記)

祝

厚生労働大臣賞受賞



感謝。「思い出作りは、思い出作られ」と申しますが、今回の受賞は、私にとって身に余る光栄であり、この受賞は私一人のものではなく、皆さんのご支援でいただいたものと思っています。全国民生委員22万人の274名、東京都1万2千人の14名の一人として、特に足立区は4名もいただけたことは、まさに各委員のおかげ様と感謝申し上げます。これからも福祉向上に尽力いたしますので、よろしくお願いしてお礼の挨拶いたします。

(協議会(9地区)会長 中田貢弘 記)



このたび、厚生労働大臣賞を受賞できましたのは、民生・児童委員の方がたの温かいご支援、ご協力のおかげでございます。また、各関係の皆様がたのご指導ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。これからも、皆様がたから信頼される民生・児童委員として、微力ではございますが、地域の福祉活動の増進にお役に立ちたいと思います。

どうぞ今後とも皆様がたのご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(第五合同(鹿浜地区)会長 岸 一夫 記)



このたび、厚生労働大臣賞を受賞できましたことは、身に余る光栄でございます。これも関係諸機関のご指導と花畑地区の民生・児童委員の皆様がたの温かいご厚情とご協力のおかげでございます。これからも地域の皆様がたの良きパートナーとして信頼される民生・児童委員であるよう日々精進してまいりたいと思います。残された任期を全うする所存でございます。今後とも皆様がたのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

(花畑地区会長 能星松子 記)



このたび私事、厚生労働大臣賞を受賞いたしました。これも一重に関係各位のご尽力と心より感謝申し上げます。昭和52年に民生・児童委員を委嘱されました。当時はまだ若く、お受けするべきか悩みましたが、早くも30年が経ちました。いただいた表彰は単なる身の飾りではなく、心の中の支えとして残し、これからも皆様と共に民生・児童委員活動を続けてまいりたいと思います。

(第七合同(東栗原地区)会長 宮崎十三 記)

10月期全員食事を開催



鈴木恒年足立区長

平成18年10月3日、10月期全員食事が皇居を眺望できる東京会館・ローズルームにて開催されました。全民生・児童委員と区長、議長を始め多数のご来賓を含め517名が集いました。中田足立区民生・児童委員協議会会長のご挨拶では、「さまざまな社会保障制度の改革がせまられている中で、区民の安心を実現させることが民生委員に求められている課題である。また、児童虐待の増発、青少年非行の低年齢化など、社会からの見守りが一層必要になってきている。これらは、民生委員活動の中で特に力を入れていきたい部分である。ところで、来年は民生委員制度が発足して90周年を迎える。『災害時にひとりも見逃さない』運動に取り組み、強化充実しなければならない」と述べられました。乾杯後に、美味しい料理に

舌鼓を打ちながら、足立シティーオーケストラ・弦楽四重奏で、モーツァルト作曲、「アイネクライネ・ナハトムジーク」他を演奏され、格調高く華麗に祝宴が盛り上がりました。また、「びんからトリオ」の宮史郎さんがソロで「女のみち」などを熱唱しました。結びに参加者全員で「わたしたちは、すべての人びとと協力し明朗で健全な地域社会づくりに努めます」の精神をもって邁進することを誓い合い、和気あいあいの中に、閉会しました。

(湖江地区 下田尚保 記)



合同会長の皆様

高齢者が元気でいきいきと暮らせる地域を目指

(地域包括支援センター関原)



鈴木香世 (看護師)

A black and white photograph showing a group of young men sitting in a circle on the floor in a classroom. A man in a white shirt stands on the left. A chalkboard with Japanese characters is in the background.



こころ豊かな とろもれがいいの？




お父さん

お母さん

相親してね!!

私たちが大切に
子どもと向き合う
生活を送る。心豊かな
家族生活を送るべし
ます。

幼稚園
小学校
中学校

幼稚園・保育園
小学校・中学校
で
心豊かに
生活・身体活
性、オレオレ
があるみたい

幼稚園
小学校
中学校

幼稚園・保育園
小学校・中学校
で
心豊かに
生活・身体活
性、オレオレ
があるみたい

幼稚園
小学校
中学校

幼稚園・保育園
小学校・中学校
で
心豊かに
生活・身体活
性、オレオレ
があるみたい

幼稚園
小学校
中学校

幼稚園・保育園
小学校・中学校
で
心豊かに
生活・身体活
性、オレオレ
があるみたい

幼稚園
小学校
中学校

幼稚園・保育園
小学校・中学校
で
心豊かに
生活・身体活
性、オレオレ
があるみたい

幼稚園
小学校
中学校

幼稚園・保育園
小学校・中学校
で
心豊かに
生活・身体活
性、オレオレ
があるみたい

幼稚園
小学校
中学校

幼稚園・保育園
小学校・中学校
で
心豊かに
生活・身体活
性、オレオレ
があるみたい

幼稚園
小学校
中学校

幼稚園・保育園
小学校・中学校
で
心豊かに
生活・身体活
性、オレオレ
があるみたい

幼稚園
小学校
中学校

幼稚園・保育園
小学校・中学校
で
心豊かに
生活・身体活
性、オレオレ
があるみたい



介護ってなかに ● 温もりのある熟年クラブ

誰もが老後には不安をもつものですが、年をとったら「こんな所に住みたい」と思うようなマンションがあります。梅島駅近くのコープ野村梅島です。ここには熟年クラブというのがあり、絵手紙・洋裁・写真等、17ほどのサークルが熟年パワーを開花させています。講師はすべて居住者で50歳から入会でき、毎月百円の会費も無理がありません。自治会、管理組合、子ども会ともうまく連携しあい、世代を超えた交流があるのが特色です。一例として、盆踊り大会では、主催が自治会で、踊り手は熟年クラブ、夜店は子ども会の母親が担当、管理組合は設営・警備で後押しします。会は盛り上がり近くの梅島小学校の梅小音頭が流れれば、校長先生も踊り出し、子ども達も大喜び。また、6名の中学生の手伝いも目を見張るもので、皆が次々加わって膨ら

んでいきます。こんなコミュニティの姿はいつか私達が忘れていたものを思い出させてくれます。

今、社会面を賑わせている老人や子どもの問題も、地域の絆があれば解決されることも多いと思います。マンションの一人暮らしや病気の人には熟年クラブの絵手紙や写真が毎月届けられていると聞いて、フッと優しく温かいぬくもりを感じました。（10地区 川島恵美子 記）



中島根小2年 寺田菜里 作

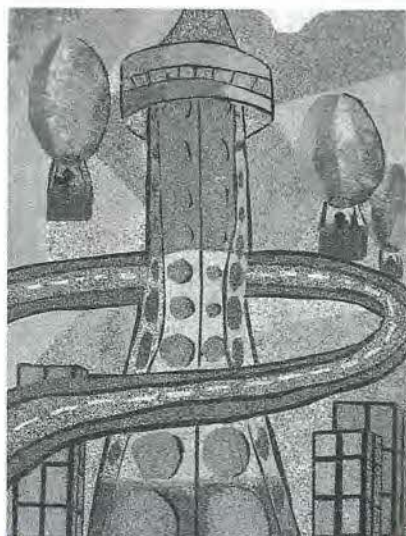
「おりづる杯」について

中央本町保健総合センターが主催する「精神管内連絡会」はほぼ毎月あり、各種講話、学習会、手芸工作などを楽しんでいます。この連絡会に参加するのは、中央本町デイケア、本木荘、アリス・協立・萌の三作業所と民生・児童委員です。この連絡会には年間行事の「おりづる杯」があります。参加者は60～70名位で、当日はかなりの熱戦となります。過去「おりづる杯」



の種目もさまざまで、ドッチボール、ソフトバレーボール、バトミントン、ポートボールなどです。運動性の高い種目の時は、民生・児童委員は特別ハンディーをもらいます。今年のファミリーターゲットボールは、ハンディーゼロで民生・児童委員が、第10回目にして初めて3位入賞を果たしました。

（6地区 森 春枝 記）



島根小5年 石塚紘基 作

中学生俳句コーナー

花火より人かはじける千住かな

三年 杉山 歩未 作

母親と背丈並んだ十五の夏

三年 長澤 香 作

北風が去りゆくあとの芽吹きかな

二年 高橋 侑里 作

淡き黄の袖子の実ゆるす夜風かな

二年 金田 遼 作

ふと浮かぶ消えた花火に祖母の面影

二年 小田切由佳 作

大根の味まで心てる母と祖母

一年 田口 善瑛 作

なつがしき祖母の味するせ草がゆ

二年 高橋 雄耶 作

千寿桜堤中学校



子育て応援団・・・若者とエイズ

「さくら」の前号に「いまどきの若者」を掲載させていただき、その中の若者たちの特徴でセックスについて触れさせていただきました。若者たちの性行動を語る中で避けて通れないのがエイズです。

ご存知かと思いますが、エイズにつき簡単に説明しましょう。エイズウイルスは人に免疫不全をおこします。エイズウイルスが免疫の働きを無症状の内に、だんだん低下させます。感染していても全く気がつかないので他の人に感染させてしまう恐れがあります。免疫が低下してくると、普通はかからない細菌やカビなどの病気にかかります。この時期になって初めて自分がエイズであることを知る人も多いのです。感染（エイズウイルスが体に入る）から発病（免疫が低下して様々な感染症にかかる）まで通常10年前後といわれています。エイズの治療は抗エイズ薬の内服です。感染がわかった時点で内服を始めれば、エイズが発病することをかなりの率で防



本木東小1年 寺尾 亮 作

げ、ほぼ正常に近い生活を送ることができ、寿命をまっとうできます。エイズが原因で死亡する人もかなり減少しました。しかし、エイズウイル

スを殺してしまう薬はないため内服は一生必要です。感染経路はいくつかありますが、日本のほとんどの感染者は性行為によるものです。

エイズの現状ですが、日本は先進国の中で唯一エイズが増加している国であり20～30歳代の男性の感染・発病者が多くなっています。女性も全体数は少ないものの、割合で見ると10歳代が多くなっているのが気にかかることです。この現状は若者の性行動（気軽にセックスする）に関係が深いと思われます。セックスに関する意識調査を見ますと、高校生で男女とも80%がセックスを容認しています。この考え方、行動は10～20歳代の若者の間にエイズの爆発的な感染者を出してしまう下地ができていく訳です。エイズ患者をこれ以上増やさないために、若者たちにエイズの正しい知識とエイズにならないためにはセックスをしないか、コンドームを正しく装着するしかないこと、セックスをするなら定期的にエイズ・性感染症検査の必要のあることを伝えていく必要があります。

ちなみにセックスに関する意識調査を教員・父・母にも調査しましたが、セックス容認派は教員で15%、父は10%、母は5～6%しかいません。セックスを安易にすべきでないと考えていること、世代間のギャップがこんなにあることを子どもたちに伝えているのでしょうか。やはりここでもコミュニケーションをとる必要性が感じられますが、いかがでしょうか。

（竹の塚保健総合センター 小林智春 保健師）

足立区立おおやた幼保園

足立区では今、「人間力向上につながる学力向上」を教育の最重要課題としています。その人間力向上への揺ぎない基盤をつくるのが「乳幼児期の教育」であり、おおやた幼保園は教育改革戦略の一つとして位置付けられました。そして「あだち幼児教育振興プログラム」の実践研究園として平成16年4月に開設されました。幼稚園機能と保育園機能を併せもつ幼保一体化施設で、1歳児から5歳児までの子どもたち107名が在園し、保育園と幼稚園の融合による保育・教育の充実を目指しています。

幼児は自ら環境に働きかけ、夢中になって遊ぶ様々な体験を通して生きる力の基礎を培っていきます。保育者の資質の向上はもとより、保育室や園庭環境の工夫・改善、家庭・地域の方がた・近隣の小・中学校・高等学校・図書館

など関係諸機関との連携を深め、乳幼児期にふさわしい生活や遊びが展開できる豊かな環境づくりにむけて、日々努力しているところです。また、地域の乳幼児をもつすべての保護者が親子で利用できる子育てサロン「おおやた たんぼぼ」を開設しています。遊びの伝承や絵本の読み語り・子育て相談・ミニ講座など運営の工夫を図っている中で、たくさんの親子の明るい笑顔がみられ、うれしい毎日です。

今後は、年2回の公開研究保育をはじめ、子育て相談、家庭教育学級幼児教育情報の発信等、幼児教育センターとしての機能をさらに高めていきたいと考えています。

（足立区立おおやた幼保園
赤坂 榮 園長）



小坂憲次 前文部科学大臣の視察

民生委員制度創設90周年スローガン
広げよう 地域に根ざした 思いやり



子育て応援団

民生・児童委員さんが中学校の授業に部活に大活躍！

新田中学校の取組

本校の教育活動のベースに「地域と共に歩む学校」があります。生徒の健全育成をはかるには学校・家庭・地域が強く連携しなければ難しいと思います。本校では5年前より民生・児童委員さんをはじめ地域の方が「選択体育のゴルフ授業」「ゴルフ部」に指導員として直接子どもたちの指導をしていただいております。もちろん、技術の指導だけでなくマナーやエチケットについて厳しくご指導していただきます。うれしい



ことにはこれをきっかけに生徒が地域の行事へ参加するようになったことです。また、生徒の顔や名前を地域の方がたが知って、子ども達とのあいさつや会話が増えたということです。これは非行の防止、地域での安全確保など子どもたちの健全育成に大きな成果となっていると確

信しております。

(足立区立新田中学校 大八木憲三 校長)

ゴルフ部・選択授業と、母校のお手伝いをさせていただき4年目となります。学校施設の前に広がる18ホールのゴルフ場、そして学校の屋上には10打席の練習場があります。子ども達が、こんなに素晴らしい環境で、ゴルフができるとは夢にも思いませんでした。都民ゴルフ場のご好意、大八木校長先生の熱意ある教育方針、地域の方がたの協力があることです。将来、プロの誕生も夢ではないかも…。子ども達も、親との会話が増えた、集中力がついた、マナーが身につくなどとても良いことがいっぱいあります。私自身、ゴルフという素晴らしいスポーツに出合い、目の輝く子どもたちからいつも若さの

パワーをもらいありがたいと思っています。これから是非続けていきたいと思っています。民生・児童委員としても、安心安全な地域にするため、日頃から積極的に声かけをするようにしています。



梅島第二小4年 松平水月 作

(江南・新田地区 鈴木房子 記)

みんせいがわらばん

地場産業の発展に子ども達が一役

東京芸術大学の学生が足立区と連携しデザインプロジェクトを進めています。

その一環として足立区の地場産業のひとつである革を使ったワークショップが開催されました。区民とのコラボレーションにより製作したもの(鞆や靴など)について、区内外に発信していこうというものです。平成18年12月17日ギャラクシティーにおいて「革に触れようワークショップ」が開催されました。鹿浜西小学校5年生9名、4



年生5名が参加しました。思ったよりも大きないろいろな色や形の革が並んでいたのを見て、「わあー」という子ども達の歓声と、ワクワクした表情が印象的でした。革に絵を描くことが初めてだったので、恐る恐る小さく描き始めていましたが、学生さんの声かけで徐々に大きくのびのびとした絵を描けるようになっていきました。描き終わった後、皆で描いた革の一部分を切り取ってミニフレームを作っていたいただきプレゼントされ大喜びでした。一緒に作ったことがなにより楽しかったようでした。なかなか触れることのない革や、お話をする機会がない大学生と「ふれあい、交流」する機会ができたことは大変ありがたいことだとおもいました。革製品を見つけたときに、子ども達が今回のことを思い出してくれるとうれしいと思います。

(鹿浜西小学校 図画工作科 山崎由三子 教諭)

第11回 心の健康フェスティバル

日時＝平成19年3月3日(土) 11:00～16:00

場所＝足立区役所 庁舎ホール・アトリウム・正面広場

模擬店・バザー品販売(11:40～) 特別講演 中田貢弘氏「心」(14:00～)
自主製品販売 座談会 音楽療法 演奏 演劇展示 家族相談会 就労相談など



民生・児童委員協議会からのお知らせ

日 程	会 議 名	場 所
3月3日(土)	心の健康フェスティバル	区役所アトリウムほか
3月9日(金)	会長協議会	区役所 13 階会議室
3月12日(月)～19日(月)	合同地区協議会	区役所 13 階会議室
4月13日(金)	会長協議会	ギャラクシティ会議室
5月14日(月)～17日(木)	合同地区協議会	区役所 13 階会議室
4月～5月	自主研修	各地区の指定場所
5月22日(火)～23日(水)	会長協議会研修旅行	未 定
6月～7月	ケースワーカー懇談会	各地区の指定場所

とぴっくす

おいしく、楽しく交流

秋晴れの10月21日(土)、花畑西小学校“2006 オータムフェスタ”が、金管バンドのオープニングパレードで始まりました。保護者の担当は、焼きそば、フランクフルト、ゲーム他数店とフリーマーケット。先生方もミソおでんと茶道教室を担当。特別参加の「神田雛子保存会」による実演と子どもたちの演奏体験。ライオンズクラブ後

援による献血運動。数ある模擬店の中でも協議会担当のあつあつきな粉餅は、校長先生やお父さん方が子ども用杵でつき、またたく間に完売でした。延べ1,500人の安全のために、近隣町会の方がたの熱心な警備のお蔭で、予定より少し早目に無事終えることができました。皆様の協力あつての楽しい一日でした。

(花畑地区 須賀はる子 記)



梅島第一小6年 井上佳奈子 作

民生委員・児童委員創設90周年記念大会

日時 平成19年7月5日・6日
会場 日本武道館 ほか

災 害 時 一 人 も 見 逃 さ な い 運 動

民生委員制度創設90周年スローガン

編集後記

13号ができあがりました。「さくら」創刊号が2004年3月に発行されて以来、3年の歳月が過ぎました。部会も回を重ねること実に57回。最初は本当に試行錯誤の連続で、徐々に今の形に定着してきました。

おかげさまで各方面からお褒めの言葉や、励ましの言葉を頂き、部員一同、またまた闘志に燃えています。民生・児童委員の動きが理解していただける広報紙を目指します。これからも、ご愛読ください。

(広報委員 野辺陽子)

訃報

第四合同9地区 勝間幸雄 殿

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

広報紙 掲載絵画の展示を行います ●●会場 区役所ロビー 3月7日PM2:00～3月16日PM2:00
掲載絵画依頼は第一合同から第七合同の小学校に順番にお願いしております。

■皆様の原稿を募集いたします(原稿は未発表のものに限ります)。次号発行予定日 7月1日
原稿に関しては紙面の都合がございます。事前に地区広報委員にご相談ください。

広報部会	部長	平田 幹明	副部長	高野 季	宮本 勝男	会計	須田 陽子	飯泉 節子	書記	大澤 稔	編集	校正	田中 榮一	編集委員	渡邊 正勝	川島 恵美子	角田 千恵子	茂出 木幸子	森脇 久仁子	田中 千恵子	塩田 博子	北嶋 昭夫	校正委員	小菅 實	大久保 義子	松本 はな子	大城 忠男	山崎 勝	内藤 久子	加藤 喜代子	野辺 陽子	下田 尚保